

# 令和2年度（2020年度）体育保健課取組の方向

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課

幼児児童生徒が、自ら、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するとともに心身の健康を保持増進し安全に生活できる資質や能力を育成する。

また、スポーツによる人が輝く豊かなくまもとづくりを目指し、ライフステージに応じたスポーツ機会の創造を図るとともに魅力あるスポーツ環境づくりを進める。

## 〈重点努力目標〉

### 1 学校体育の充実と幼児児童生徒の体力向上に向けた取組の推進

- (1) 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を育成するため、体育・保健体育の授業を一層充実させるとともに、学校の教育活動全体を通じて体力の向上を図る。
- (2) 「運動部活動の指針」及び「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」を基に、適正な運動部活動及びスポーツ活動の推進を図る。

### 2 保健教育・食育（食に関する指導）の充実と保健管理・給食管理の徹底

- (1) 心身ともに健康な生活習慣の形成に向けて、組織的対応による保健管理の徹底を図るとともに、保健教育の充実を図る。
- (2) 朝食摂取をはじめとする望ましい食習慣の形成に向けて、食育（食に関する指導）の充実を図るとともに、学校給食の衛生管理・栄養管理の徹底を図る。
- (3) アレルギー疾患への対応に向けて、委員会設置及び基本方針策定の徹底を図り、医療・消防機関等と連携した組織的対応の充実を図る。
- (4) 健康課題の解決に向けて、家庭・地域・関係機関等が連携した組織的実践により、学校保健委員会の充実を図る。

### 3 「する・みる・ささえる」スポーツの推進と県立スポーツ施設の充実

- (1) 「総合型地域スポーツクラブ」の育成、県民体育祭及び「ふれあいスポーツ」等のスポーツイベントの充実、児童生徒のスポーツ環境の整備に向けた取組等を行うことで地域スポーツの推進を図る。
- (2) 県民に夢や希望を与えるため、国内外で活躍するトップアスリートや次世代アスリートの発掘・育成を図る。
- (3) 各種研修会を通して、スポーツを支える人材の育成を図るとともに、顕彰制度の充実を図る。
- (4) 県立スポーツ施設が、中核スポーツ施設としての機能を発揮し、さらに県民が利用しやすい魅力ある施設となるよう、適切な管理運営と施設・設備の充実を図る。